

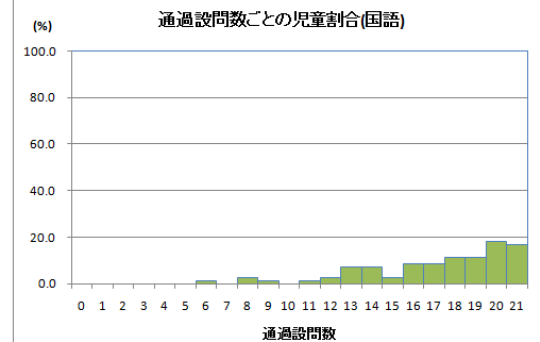
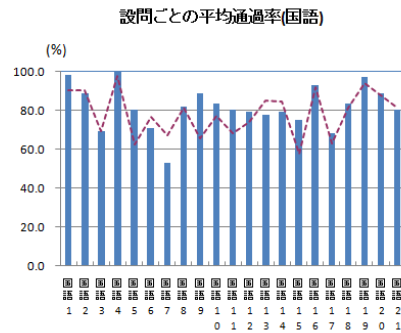
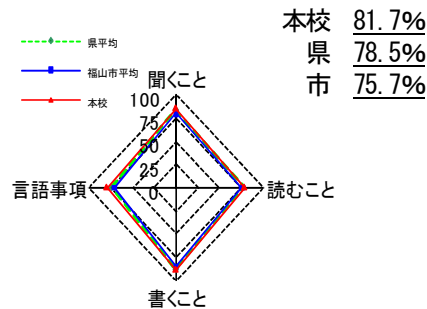
## 昨年度課題

- ①【読むこと】「文と文の意味のつながり」の問題において、長文を正しく読み取る力が不足している。
- ②【聞くこと】要点の聞きとり」の問題において、文や話しの要旨や要点を聞き取り、メモに整理する力が十分ついていない。
- ③【言語事項】ローマ字を正確に覚えていない。

## 昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ①長文読解の練習プリントを家庭学習に位置付け、練習量を増やすとともに家庭での読書量の増加を図る。
  - ②ナンバリングを用いるなど、簡単なメモを取る活動にしっかりと取り組ませる。
  - ③ローマ字を使う機会を増やすために、定期的に家庭学習でローマ字に取り組ませる。
- 《本年度の目標値 「ローマ字の記述」75%、「要点の聞き取り」70%》

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



## 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎熟語の意味とつなげて漢字を正確に覚えていない。(通過率 52.8%)
- ◎作品全体の展開から、人物の会話の内容や場面の様子をとらえる力が十分ついていない。(通過率 77.8%)
- ◎「要点の聞き取り」の問題において文や話の要旨や要点を聞き取り、メモに整理する力が十分ついていない。(通過率 88.9%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

- 【国語科】①漢字について意味の違いや使い方に着目させる指導の充実を図るとともに、漢字の練習量を増やす。
- ②文や語句の文脈上の意味を考えさせ、叙述に即して情景や登場人物の心情を豊かに想像させる指導の充実を図る。
- ③誰にどんな目的で書くのかといった場面を具体的に設定し、構成メモを活用して書く活動にしっかりと取り組ませる。
- 【全校・他教科等】
- ①家庭学習で熟語集めをさせたり、日記の中で既習漢字を使わせたりするなどし、意味と合わせて覚えさせる。
  - ②「どのように登場人物の気持ちをとらえたか」について、自分の考えと根拠となる表現の両方を書かせ、考えと根拠のつながりについて友達と交流させる場をつくる。
  - ③児童に聞くことの目的を意識させた上で、必要なことだけをメモに取る練習に取り組む。

## 取組みの検証

- 時期 2月中
- 目標値 CRTテスト平均85点以上
- 方法 CRTテストの全校実施

## 来年度の目標値

- 県平均よりも5ポイント以上上回る。
- 通過率80%以上の児童の割合を70%以上にする。

## 昨年度課題

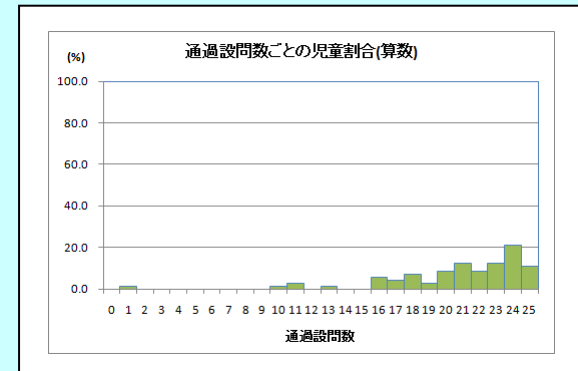
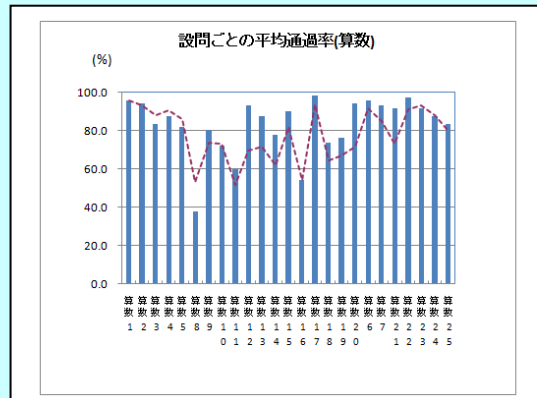
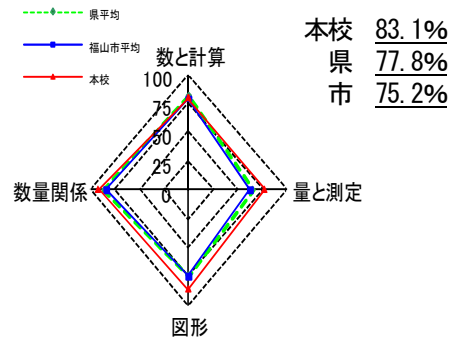
- ①【量と測定】「面積の単位」の問題において面積のそれぞれの単位に適切な量感がそだてていない。
- ②【図形】直角三角形の作図が正確にできていない。
- ③【数量関係】数量の関係を( )を使って1つの式で表すことができない。

## 昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ①身の回りの実物を実際に触ったり測定したりしながら、体験を通して量感を感じ取らせていく。
- ②思考力を高めるために、様々な角度からじっくり考える活動、自分の考えを論理的にまとめる活動、考えを互いに交流し合う活動を充実させる。
- ③練習量を増やすとともに、単元終了後も定期的に反復練習を取り入れ、確実な定着を図る。

《本年度の目標値 県平均よりも10ポイント以上上回る。》

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



## 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎3位数や小数を使った計算が正確にできていない。(通過率81.9%)
- ◎分数の意味や表し方について理解が不十分である。(通過率37.5%)
- ◎面積を求めるために必要な長さを児童自ら見つけることができない。(通過率54.2%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

### 【算数科】

- ①計算問題の練習量を増やす。毎日必ず家庭学習で計算問題を出し、習熟を図る。
- ②分数の指導において1に当たる大きさを常に意識させる指導を行う。数直線や面積図等を用いて表す指導を行う。
- ③面積を求めるためにどの長さが必要か考えて判断し、必要な長さを選択したり測定したりする活動を取り入れる。

### 【全校・他教科等】

- ①単元終了後も定期的に反復練習を取り入れ、確実な定着を図る。
- ②小数や分数を具体物・図・数直線を用いて表し、大きさを比べる活動を充実させる。
- ③日頃から情報過小な問題を提示して、必要な数字を考え出させるようにする。

## 取組みの検証

- 時期 2月中
- 目標値 CRTテスト平均85点以上
- 方法 CRTテストの全校実施

## 来年度の目標値

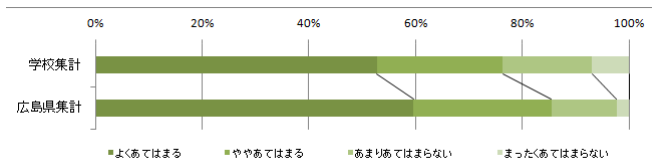
- 県平均よりも5ポイント以上上回る。
- 通過率80%以上の児童の割合を75%以上にする。

# 授業改善シート〔質問紙調査〕

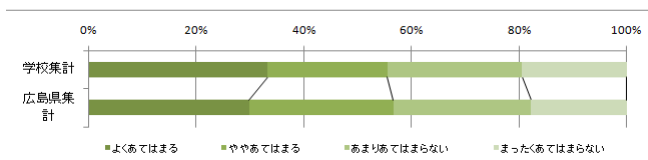
校番(63)番 福山市立明王台小学校

## 1 生活・学習

外に出て遊んだり、運動をしたりして体を動かしています。



読んだ本の内容について、友だちや家族と話をしています。



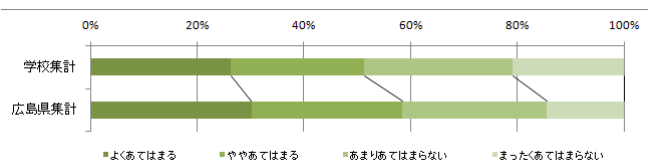
改善したい点(◎「基礎・基本」)	今後の具体的な取組みの内容
◎外遊びの充実 外に出て遊んだり、運動をしたりして体を動かしている児童が、県平均よりも9.1ポイント低い。	・毎週金曜日に実施の朝体育の内容を見直し、児童が意欲をもって体力の向上を図ることのできるものとする。また、鬼遊びなど休憩時間にできる遊びを紹介する。クラス遊びや異学年交流の遊びを企画し、コミュニケーション能力の育成をめざす。
◎読書活動の充実 本を読むのが好きな児童や、読んだ本の内容について友だちや家族と話をしている児童が、県平均よりも少ない。	・毎学期、読書月間を設定し、読書に対する意識を高めるとともに、「全校読書貯金」に取り組む。また、朝のスピーチなどに本紹介などを取り入れ、友だち同士読んだ本の内容について交流できる場を設定する。

### 来年度の目標値

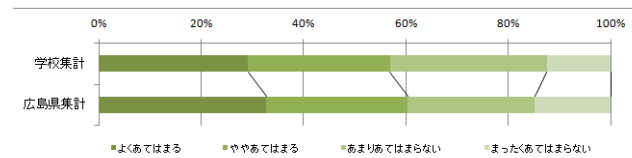
- ・外遊びに取り組める児童を85%以上にする。
- ・読書の話をする児童を60%以上にする。

## 2 教科学習への意識

国語の授業では、漢字などのくり返し学習をするのが好きです。



算数の授業を楽しみにしています。



	児童の回答と学校の指導についての課題(◎「基礎・基本」)	授業改善の方向性や具体的な取組み
国語	◎漢字などの繰り返し学習をするのが好きという児童は、51.4%である。意欲や目標をもち、家庭学習に取り組むことができていないため、国語の「漢字の書き」の通過率が、県平均よりも低い。	・新出漢字の指導に当たっては、漢字の意味や使い方に着目させ指導の充実を図る。家庭学習の成果を実感させるよう「ミニテスト」や各学年の配当漢字「完璧覚えテスト」などで評価する。
算数	◎算数の授業を楽しみにしている児童は、56.9%であり、県平均よりも低い。	・算数的活動を充実させるとともに、毎時間ペア学習を授業の中に取り入れ、積極的に自分の考えを説明する機会をもつようにする。話の聞き方・話し方モデルを示し、どの児童も説明の仕方がわかるようにする。

### 来年度の目標値

- ・漢字などの繰り返し学習をするのが好きという児童を、60%以上にする。
- ・算数の授業を楽しみにする児童を、60%以上にする。

# 授業改善シート〔実施スケジュール〕

校番(63)番 福山市立 明王台小学校

